令和２年度　生徒自ら行う学習環境整美事業実績報告

下高井農林高等学校

１　事業①

事　　業　　名	灌水設備及び消雪設備設置工事
実 施 主 体 名	植物科学コース
実施人数（生徒）	８名
〃　（職員等）	３名
実　　施　　日	令和２年 10 月下旬
事 業 内 容	生徒実習で管理する苗物は繁忙期になると温室外へ出し井水を使い灌水を行っていたが、未だ側溝に排出されてしまい、野菜苗への底面灌水が難しくなっていた。そこで、既存の側溝を埋め立てることで効率よく井水を貯め野菜苗への灌水ができるようにした。 また、本校は県内有数の豪雪地帯であり、冬季には普段、実習を行っている温室周辺の除雪が困難な為、側溝を埋め立てることで機械を使用した除雪を行い易くし、生徒実習を安全に行える環境を整えることができた。

写真１　側溝に砕石を投入し均す

写真２　コンクリート打設

写真３　コンクリート養生

写真４　散水ホース設置

写真５　散水ホース設置　完成

温室脇の側溝へ砕石を投入する工程（写真１）を通じて、砕石を敷き詰め平らに均す必要があり、砕石の量が多い箇所とそうでない箇所を見極めて投入するなど、注意力が養われたと感じている。また、コンクリートを敷き詰めていく際に必要な量を運搬する工程においては、言葉を交わし確認しながら行う必要があり、コミュニケーション能力も養われた。　コンクリートを均等敷き詰める工程（写真２）では、横一列に間隔を取りながら広がり、道具を使い平らに均す為に隣の人との段差が生じないよう声を掛け連携をしながら均すことができ一体感が生まれたと感じることができた。

２　事業②

事　　業　　名	保健室内の壁面塗装
実 施 主 体 名	保健委員会
実施人数（生徒）	５名
〃　（職員等）	１名
実　　施　　日	令和２年８月 24 日～８月 31 日
事 業 内 容	保健室の剥げかけている塗装を金属へらでそぎ落とし、塗料で２度塗りを実施した。新型コロナウイルス感染症の影響で、夏休み明けの放課後に実施した。

壁塗りを実施しているところ

壁塗り終了後

生徒たちは学校生活の中で感じた小さな気づきを話し合い、作業手順の確認と役割分担をして協力しながら実施できた。自らの意志で行動を起こすことの重要性を学んだ。